

一般質問 下川のここが聞きたい



投雪作業困難な 流雪清の課題解消は

町長 空家、投雪が困難な高齢者に対する支援を検討

公共施設等総合管理計画の策定

近藤議員 計画期間は、一〇年を目途とし都市計画マスター・プラン、総合計画などとの整合性を図りながら決めていきます。

質問 議会や住民との情報及び現状認識の共有化を図り、公共施設の廃止、縮小等目標縮減率を策定する考えはあるか。

町長 具体的な数値目標を設定していないが、計画を推進するため施設の利活用や建物の現状認識を共有していく。

旧児童クラブの有効活用

再質問 長期的な将来見通し、計画期間、目標縮減率など将来的に下川町の公共施設の管理上設定すべきではないか。

町長 サークル活動や親

あり方を検討します。
事業所や商店の廃業等で十分な投雪作業が困難となっている。維持管理を定期的に一定のルールのもと公費負担することで解消できないか。

建設水道課長 今後の課題は未投雪箇所、未利用者部分が一番の要因と思つており、高齢者の影響が深刻となってくること

建設水道課長 今後の課題は未投雪箇所、未利用者部分が一番の要因と思つており、高齢者の影響が深刻となってくること

から投雪作業困難者を支援する仕組みが必要と感じている。

再質問 町道は今年から全線民間委託され効果が期待されている。流雪溝連絡協議会を活用することによって公費負担も可能。また、公約の住んで良かった町、住んでみたい町をアピールする上で「幸せ日本一」の町づくりの本気度を伺いたい。

流雪溝管理に公費負担を

再質問 廃棄、高齢化などで投雪作業が困難となつた流雪溝の管理の課題解消をどのようにするか。

町長 利用者と町の役割分担を基本とし空家・空地の雪処理、投雪が困難な高齢者に対する支援の



町長 除雪、排雪は地域課題の最たるものと認識している。民間事業者に要請し新しい組織も設置していただき、町道の全面委託という形で新しい方向転換も進めている。町ができないところは国や道に働きかけ三者協議の方法を高めていきたい。